

令和4年度 新病院建設調査特別委員会報告

令和5年3月17日

令和4年度における新病院建設調査特別委員会報告の調査活動の経過並びに結果について御報告いたします。

本特別委員会は、昨年5月18日の臨時会におきまして「西都児湯医療センター新病院建設の調査検討を行うこと」を目的に設置されたところであります。

まず、8月19日に委員会を開催し、当局の西都児湯医療センター（以下、医療センター）新病院建設に対する考え方等を確認するため、新病院建設に関わるこれまでの経緯・経過や今後の予定等について、地域医療対策室より説明を求めたところであります。

説明によると、

- ・今年度の4月、地域医療対策室内に新病院対策係を新設し、新病院建設に向けて再始動したものの、県の「地域医療構想」の見直しが来年度実施されること、その構想に基づき「公立病院経営強化プラン」、「第8次医療計画」が策定されること、その中において二次医療圏における病床数や病床機能が見直されるものと考えており、現在のところ様子見の状態である。
- ・地域医療対策室としての新病院建設に向けての動きとしては、まず建設予定地の再検討及び選定、建設に係る財源の検討を進めている。
- ・建設予定としては、以前から医療センター施設整備構想のなかで候補として挙がっていた予定地等の再検証を行う。

- ・財源については、現状の医療センターの経営状況では病院事業債の利用は厳しいと受け止めているので、県にも確認しながら他の財源として利用できる制度事業を模索している現状。
- ・一番重要なのは医療センターの経営安定であるので、連携を図り、協力しながら経営安定に向け支援していきたい。

とのことであります。

説明を聞いた上で、今後の委員会の活動方針について協議を行い、児湯郡の議員や市民との意見交換会、先進地視察等の意見が出されましたが、次回の委員会で意見集約することとなったところであります。

次に、1月19日に委員会を開催し、委員会の活動方針について意見集約を行ったところであります。協議の結果、前回の委員会で確認したとおり、当局としても新病院建設については、現在、様子見の状態であるということ踏まえ、委員会としては、来年度見直しされる予定の「地域医療構想」等を担当する県福祉保健部医療政策課への表敬訪問及び意見交換を実施することとしたところであります。

次に、1月27日に委員会を開催し、表敬訪問の流れや質問事項等について確認を行った後、同日、県庁防災庁舎にて県福祉保健部医療政策課への表敬訪問及び意見交換を実施したところであります。意見交換では、

「地域医療構想見直しに向けての県の取り組み状況について」

「病院事業を設置する地方公共団体が策定する『公立病院経営強化プラン』について」

「県が策定する『第8次宮崎県医療計画』について」

「二次医療圏の設定や病床数について」

質疑応答を行い、本市の新病院建設に影響する地域医療構想をはじめとした県の考え等について意見交換することができました。

以上が令和4年度における本特別委員会の活動の概要報告であります。

今議会におきまして橋田市長は、

「地域医療に関しましては、市民の安全安心を確保するため、西都児湯二次医療圏の中核的病院である西都児湯医療センターが、地域における緊急性の高い脳疾患や地域に不足している内科疾患における二次救急医療の提供体制の充実と経営基盤の強化といった第3期中期目標を達成できるよう、地元医師会や宮崎大学などの関係機関と連携を密にしながら市として必要な支援を行うとともに、新病院建設に向けての取組についても協力しながら進めてまいります。」と令和5年度施政方針で述べられております。

新病院建設に向けては、様々な課題が山積しておりますが、まずは医療センター等との連携を図り、協力しながら経営安定に向け取り組むことを要望しまして、本特別委員会の報告を終わります。

よろしくご審議いただきますようお願いいたします。